

静岡県伊豆の国市における森林環境譲与税の活用について

■活用状況(全体像)

区分	令和元年度～ 令和6年度	令和7年度	計	令和7年度末 時点の活用率	未執行額の活用方針
活用額(円)	37,476,900円	11,082,300円	48,559,200円	66%	・森林経営管理制度での意向調査、集積計画作成 ・集積計画作成区域の森林整備 ・危険木伐採の補助(森林環境整備事業費補助金)
譲与額(円)	59,129,000円	15,024,000円	74,153,000円		

■令和7年度の具体的な活用状況

区分	事業区分	事業費	うち 森林環境譲与税	事業内容
森林整備	意向調査、 集積計画作成	4,565,000円	4,565,000円	全体計画に定めた優先順位に従い、韮山南エリアの6.35haを対象とした意向調査及び集積計画作成を実施した。
森林整備	林道修景伐採 業務	4,400,000円	4,400,000円	森林整備や特用林産物の生産を促進するため、林道沿いの樹木について整備を行った。(対象:2路線)
森林整備	小規模林道橋 梁点検等業務	1,771,000円	1,771,000円	林道施設の長寿命化を図るため、市が管理する林道橋(4m未満)4箇所の点検を実施した。
森林整備	森林保護対策	346,300円	346,300円	ナラ枯れ等の危険な樹木を伐採するための費用を2件補助した。
基金積立		3,941,700円	3,941,700円	森林環境整備促進基金に積み立てた。
合計		15,024,000円	15,024,000円	

静岡県伊豆の国市における森林環境譲与税の活用について

■今後の実施計画

①森林経営管理制度による意向調査及び森林整備

R8年度は、大仁北エリアの意向調査及び集積計画作成を実施するとともに、韮山北エリア及び韮山南エリアの森林整備を実施する。

R9年度以降も、森林経営管理制度全体計画に基づき計画エリアにおける意向調査を実施し、集積計画で定めた森林整備を順次進めていく。

②林道修景伐採業務

市内全11路線の林道について、林業体等の森林整備及び特用林産物の生産を促進し、林道災害の未然防止、景観向上を目的として、既存事業では実施できなかった樹木の整備を引き続き実施していく。